

藤水小学校だより

— ひと・もの・ときを大切に —

第5号

令和3年 7月19日
津市立藤水小学校
TEL 059-228-3674

中日新聞で紹介されました！

カメラマンの浅田政志さんに全校写真を撮っていただいたことが、中日新聞で大きく報道されました。予定の学校を撮り終えた後、写真はパネルにして各学校にいただけることになっています。また6年生だけは、卒業アルバム用としてもう1枚撮っていただきましたので、そちらの仕上がりも楽しみです。

中 日 新 聞

2021年(令和3年)7月6日(火曜日)

浅田さんが撮影した、藤水小の児童や教員が並んで浮かび上がらせた花火のデザイン=若林さん提供



藤水小の児童らに位置などの指示を出す浅田さん(中)。いずれも津市藤水方面

同市高茶屋のイベント会社「ファミエ」の若林祐基さん(左)が、子どもたちに

校庭いっぱい花火表現

新型コロナウイルスの感染拡大で学校行事の規模が縮小される中、子どもたちの思い出をつくらせようと、津市立の小学校を対象に、花火をイメージした全校児童の写真撮影が行われている。撮影するのは同市出身の写真家浅田政志さん(右)。関係者は「少しでも子どもたちの笑顔につながれば」と話す。
(松本貴明)

写真家・浅田さん 市立小で全校児童撮影

「わくわくすることをしめてあげたい」と考え、企画した。分校を含む市立の小学校と義務教育学校の全五十校のうち、希望があった学校を対象に、それぞれ花火のデザインを考えてもらい、浅田さんが撮影する。写真はパネルにして十二月、ろに各校に贈る。費用は、趣旨に賛同した同市北丸之内の精肉店「朝日屋」が担う。

六月一日から撮影を始め、今月五日現在、十六校で撮り終えた。先月下旬に撮影した藤水小(全校児童二百五十五人)では、先生たちを発射筒に見立て、そこから子どもたちが花火として飛びだしていくデザインを考え、当日は、校庭に集まった児童らに対して、浅田さんが校舎の上から位置などを指示し三十分ほどで撮影を終えた。

六年生の木村凌大君(こ)は「校庭からはどんな図柄になっているか分からないから、完成が楽しみ」と笑顔を見せた。田中寛校長

浅田さんは「子どもたちが本当にかわいくて楽しい。大きな全体写真だが、一人一人の表情が分かるように撮っているの、みんなが主役ということを感じてほしい」と話した。

現在、二十校を撮影予定。そのほかの市立学校についても今月中旬までに要望があり次第、九月十一日に撮影する。(写真家・浅田さん) 406

「花ボランティアさんに来ていただきました！」

連合自治会様をお願いをしていた「花ボランティア」の方に来ていただきました。地域コーディネーターの市川さんにお声がけいただき、民生委員の方が中心となって、校長室前の花壇に夏の花を植えていただきました。これからも、定期的にお世話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



夏休み中のお知らせ

○**8月12日（木）、13日（金）、16日（月）の校務休止日の実施について**

今年も、お盆期間中に校務休止日を設定させていただきます。

そこで、8月12日～16日まで、学校は職員が不在となりますので、ご理解をお願いします。

また、この期間中に、学校への緊急連絡等が生じた場合は、

津市教育委員会事務局学校教育課（電話：229-3244）までお電話いただきますようお願いいたします。

なお、夏休み中にお子様及びご家族等が新型コロナウイルス感染症の検査を受けることになった場合は、必ず学校までご連絡いただき、検査結果が出るまではお子様は自宅待機していただくとともに、検査結果が分かり次第、必ずご連絡ください。

また、学校に連絡がつかない場合は、津市教育委員会事務局教育研究支援課（電話：229-3293）までお電話いただきますようお願いいたします。